



万が一に備えています

危険物安全月間（6月2日～8日）にあわせてトナミ近畿物流株式会社で消防合同訓練が実施されました。自家給油所内において従業員が燃料を補給中に着火したという想定で、従業員の避難、通報、消防隊員への状況報告など順調に行われ、最後には泡消火が行われ訓練は無事に終了しました。（6月7日）



本格的な梅雨シーズンを前に三宅東2丁目にある東大海池において水難救命ボート取扱い訓練を行いました。訓練はボートの組立て、着水、操船といった基本訓練と溺者を救出する実践訓練の2部構成で実施しました。（5月23日、24日）



バラの季節がやってきました

大阪ミュージアム構想にも登録されている、バラが満開の市庁舎で「バラフェスティバル」が行われました。黄昏コンサート、キャンドルナイト、ジャパンプロレス2000によるプロレスを始め多数のイベントが行われ「バラ」エティに富んだ催しとなりました。（5月20日～26日）



水道水について考えてもらう機会に

6月1日～7日の水道週間にちなんで、市役所市民プラザにて水道フェアが開催されました。フェアでは、水ができるまでのパネル展示、市販のペットボトル水と水道水（高度浄水処理水）の試飲、アンケート調査などを行い、約300人の参加者らは水道水のおいしさや安全性について理解を深めました。（6月4日）



親子で一緒に楽しいひととき

男女共同参画推進の一環として6月から7月にかけて計4回で「みんながわくわく子育て実践講座」が行われています。その第1回目が子育て支援センターのびのび（第2保育所内）で行われました。13組の親子が訪れ、赤ちゃんと一緒に楽しめるエクササイズ（ベビーダンス）などを行いました。（6月17日）



市内の小学生が集まっての連合運動会

市内の小学5年生が集まり、市民運動広場（岡）で「松原市小学校連合運動会」が行われました。玉入れ、台風の目、綱引き、縄跳び、リレーなどの競技が行われ、各小学校がしのぎを削りました。（6月15日）



障害者の就労のきっかけに

障害者雇用のメリットを知ってもらい、就労のきっかけを作ろうと「障がい者就労フェスタ2013」（主催：松原ライオンズクラブ）が松原商工会議所会館で行われました。障害者を雇用している事業所の人のお話や作業の実演、自主製品の展示・即売などが行われ、会場には経営者や雇用担当者など多数の人が訪れました。（6月1日）



きれいなまち松原を目指して

「きれいなまちづくり美化キャンペーン」が行われ、町会清掃には96町会約6600人が参加しました。各町会単位で行われている清掃活動がこの日市内全域で行われたものです。また市役所周辺の清掃、駅前啓発活動にはボランティア団体など約250人が参加しました。（6月9日）



おいしいお肉に長蛇の列

食肉に対する正しい知識を普及し、食肉流通の促進を図る目的で、第11回南大阪ミートフェアが南大阪食肉地方卸売市場で開催されました。会場は食欲をそそる焼き肉のにおいが漂う中、家族連れなど大勢の人が会場へ押し寄せ、焼き肉の試食コーナー、国産牛肉や地場野菜の即売コーナー、バンド演奏、子ども向けのビンゴ大会などが行われ、会場は賑わいをみせました。（5月26日）



市と連携して自衛官の募集活動

地域に密着した自衛隊の募集活動を行うことを目的に、松原市在住の7人が「自衛官募集相談員」に委嘱されました。この日市役所で委嘱式が行われ、山岡健男自衛隊大阪地方協力本部長と澤井市長から委嘱状が手渡されました。相談員は志願者に関する情報の提供や、募集のための広報に対する援助を行います。（5月28日）